



やす づか こ ふん ぐん

第3号 (令和6年度 1号)

安塚古墳群 発掘だより

2024.6.27

《安塚古墳群の発掘調査がはじまりました》



6月3日(月)から、松本市和田蘇我地区の北側で安塚古墳群の発掘調査を行っています。この調査は、国道158号(松本波田道路)改築工事に先立って行うもので、10月中旬までを予定しています。調査の期間中、大型重機をはじめ、車両が出入りしますので十分ご注意ください。

また、調査区域内には危険な場所もありますので、許可なく立ち入らないようにお願いします。発掘の見学を希望する方は、事前にご連絡ください。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



現場に設置したプレハブ

《安塚古墳群・秋葉原古墳群とは》

松本市の新村地区には、7世紀末から8世紀にかけて築造された古墳が数多く分布しています(安塚古墳群・秋葉原古墳群)。江戸時代の開田で土饅頭のかたちに似た古墳特有の盛土は削られてしまいましたが、圃場整備に先立ち松本市教育委員会が行った発掘調査では、安塚古墳群(1978年発掘)で9基、秋葉原古墳群(1982年発掘)で5基の古墳がみつかっています。

これらの発掘調査に携わった直井雅尚氏は、発掘成果を再検討し、安塚古墳群と秋葉原古墳群は別の古墳群ではなく、一連のものとして指摘しています。そして、この新村地区の一大古墳群は、島立地区に分布する古代集落(南栗遺跡・北栗遺跡・三の宮遺跡など)の墓地と考える重要な指摘をしています。



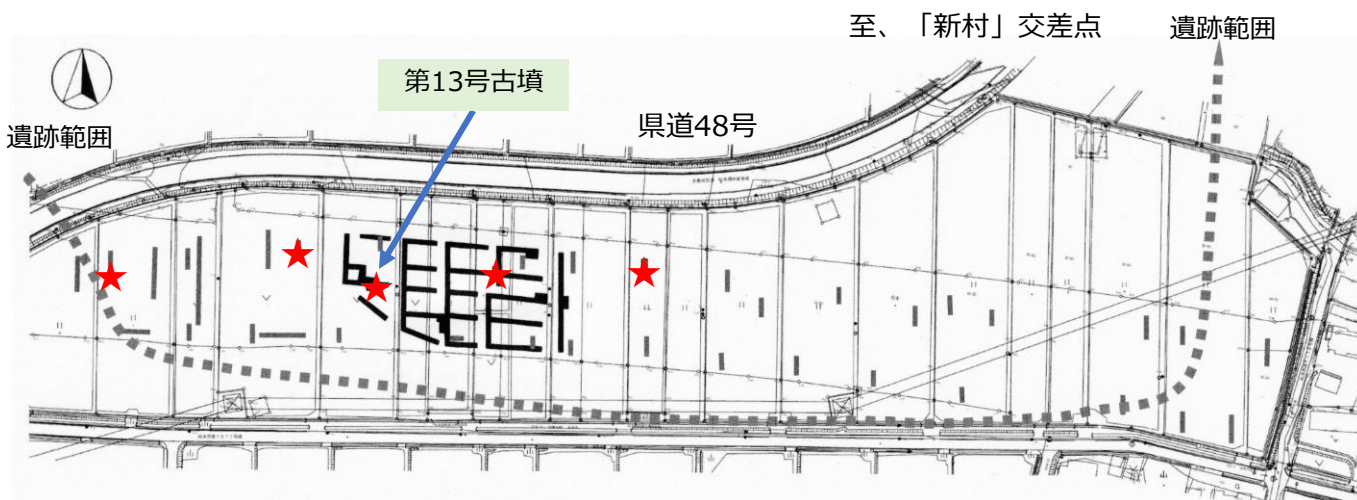
古墳群の推定範囲と古墳の分布
(※直井1994に加筆)

《昨年度までの調査成果》

令和4年度には、地中に向けて高周波の電磁波を放射し、その反応で古墳の存在を確認する地中レーダー探査を行いました。令和5年度には、地中レーダーで反応を示した箇所にも重機で幅2mのトレンチを碁盤の目のように掘削して、古墳などの遺構や遺物の存在を確認する調査を行いました。その結果、2基の古墳が確認され、松本市教育委員会の試掘調査で確認された古墳を含めると、調査対象地内に5基の古墳があることがわかりました。



令和4年度 地中レーダーによる探査風景



用地内でのトレンチ掘削箇所と古墳発見地点 (★：古墳発見地点)

本年度は、今まで確認された5基の古墳のなかで第13号古墳を調査し、さらに用地内にいくつ古墳が眠っているかを確認する調査を行います。今までの調査で、第13号古墳の石室と、古墳の周りに円形の穴（土坑）がみつかっています。

これからの調査で、石室の規模や形状、石室の中に副葬された遺物が発見されることが期待されます。

※直井雅尚1994「松本市安塚・秋葉原古墳群の再検討」『中部高地の考古学Ⅳ』長野県考古学会



図5 第13号古墳の石室 検出風景

(問い合わせ先)

長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田963-4

電話：026-293-5926

担当：河西

支援業務：(株)島田組

南山/丹生/植野/加藤

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P： <https://naganomaibun.or.jp>